

## 聖堂 せいどう

世界では、戦争や災害で自分の家に住めない人がたくさんいます。家は、私たちにとってどんな役割を持っているか、考えたことをつぎの空白に書いてください。

## 神さまと出会う場所 かみ であ ばしよ

教会で集まる場所として聖堂があります。しかし、最初の信者たちは、まだユダヤ教の中の一つのグループでしたので、神殿にも参っていましたが、パンを裂いたりする時は、家庭が集まる場所でした。キリスト教がユダヤ教から分かれ、発展するにつれて家庭で集まるにはいろいろと困難になったのでしよう。神殿に代わるものとして、聖堂が作られています。聖堂は地域の人々が集まる場所としての役割もあつたのでしよう。

イエスさまが神さまと出会う場所として考えていたのは、エルサレムの神殿ではありませんでした。エルサレムの神殿には、病人や罪人は近づけなかったのです。イエスさまは、むしろ、病人や罪人の中に神さまが住んでおられると考えていました。

私たちが神さまと出会う場所を考えると、つい教会の聖堂を考えてしまいます。それはある意味では、イエスさまの時代の神殿と同じような役割をはたしています。

しかし、神さまと出会う場所について、もっと広い心で理解していかないと、とんでもないまちがいを

おかしてしまいます。時と場合によっては、私たちが神さまと出会う場所は、聖堂の外にあります。

一人ひとりの人間のからだは神さまのすまいであり、私たちがまわりの人と出会って行く中で神さまと出会うのです。そのために、誰も差別されてはいけません、すべての人が対等に神さまのすまいなのです。

